



'87初春を迎え 恒例の新年宴会開く

今年は何多ブロックの担当で1月18日12時30分より知多半島内海

の、魚友に於て開催し県内各地より大多数の参加を頂き大盛況で

存じます。当知多半島は皆様方御承知の如く周囲は海に囲まれ、北西及び南東部は臨海工業地帯で産業都市ともい

われ、我々日常生活にかかせない衣食住の資源の供給基地でもあり、又周囲が海であるため海の幸の豊富など

酒宴の食卓は如何でしたか、活魚料理に舌鼓を打たれたことと思ひます。又夏には汐干狩、海水浴で賑わい常夏の「ハワイ」も云うべき処で南知多は三河湾国定公園にもなっており風景はこれ又すばらしいところでもあり、そんな環境の良い海辺の

の記念として人生の一頁に加えて頂ければ幸いです。さて当地区担当で常務理事でもあり手腕の司会により開会、つづいて技能検定委員長の要職にあり且つ当地区の常務理事をも兼務されている二村武次氏の歓迎の挨拶に始まり、当組合の理事長日比野定雄氏の力強い挨拶の中で時代の変化と共に基盤強化の指針を発表され会員の方々の賞賛を得拍手喝采。

続いて御来賓には参議院議員三治重信先生、柳池田商店、柳森口健商、日本鉄板鋼、大同鋼板鋼、淀川製鋼柳塩ビ五社代表松下電工柳日辰機工柳の各代表者の御参加を頂き、尚且つ手厚い御配慮を頂き主催者側として厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え日本経済は円高ドル安に始まり今年一年も前途多難の傾向、産業構造の不安定、輸出不振、鉄冷え、内需拡大などと少くとも吾々業界には影響してくる。お説によると住宅産業は昨年よりやや高調のきざしがあるとの予想だが楽

餓は許されない、国は今問題になって新しい税制改革に於いて新たに売上税を増設、廃止?私達を取りまく環境は非常に厳しく、これからは情報化時代を大いに活用し生活の知恵を発見し21世紀に向けて邁進することに全力を注ぎたいものです。

酒宴は最高潮に達し若いピチピチしたコンパニオンのサービスもこれ又酒宴に花を咲かせカラオケ大行進、思い思いのつる話、踊りに熱中している人々、もっと時間が欲しい程で時が過ぎるのは早い



愛知県板金工業組合

名古屋市中区北山町3-8-6
電話 732-1226
発行 広報委員会

もの、当地区の顧問である榊原正一氏の三本締めにより閉会を誓言され最後に会員の方々へ尚一層の団結を呼びかけて87年の門出を祝

し散会、又の再会を望み家業の繁栄と御健康をお祈りしつつ筆を閉じます。

知多 沼澤



三治重信先生



挨拶する日比野理事長

建設業許可申請手数料の改正

建設業許可申請手数料を昭和52年以来10年ぶりに改定することになりました。詳細は下記のとおりです。

◎建設大臣許可

新規申請	追加・更新申請	適用年月日	備考
*	2万円→3万円	昭和62年1月1日	建設業法施行令の改正による

*大臣許可の新規申請の場合は許可手数料ではなく登録免許税の納付になりますので、別途改正が予定されています。

◎愛知県知事許可(予定)

知事許可については地方公共団体手数料令の改正(12月23日公布)に基づき、県の規則で定めることとなります。現在、この規則について検討していますが、下記のものの方が有力です。

新規申請	追加・更新申請	適用年月日	備考
5万円→7万円	2万円→3万円	昭和62年4月1日	猶予措置有り 下記*

*昭和62年6月30日までに許可が満了するもので、適用日前に申請したのものについては、従来の手数料額とする。

1月25日9時30分、愛知県産業貿易館本館5F国際会議場において、愛知県板金総合職業訓練協会と愛知県板金工業組合の共催で、開かれた。

関係各機関の代表者の言葉や、協賛会の展示コーナーなどで構成され親睦を目的とされたものだ。今回の講演では、名南経営センター所長の



過去には、新春討議会として、協会主催で行われていたものが、工業組合との共催になり新春セミナーと題して講演を主とし、参加者全員に当たる福引会、

佐藤澄男氏による今の注目の売上税についての説明は、職人の頭にも理解できた。愛知女子短期大学講師酒井安正先生の「現代の若者を理解するため

に」は、年頃の子供をもつ親として理屈では解っていても、どうして良いかわからないという共通の悩みに対し一つの方向を与えてくれた。

たとえば、商売繁盛の大きな要員に、家庭内の安定が大切だと両親が揃っていて経済的に安定した家庭に、登校拒否が多く、片親だったり、貧しい家庭には非行が発生する率が多いという。

又、若者の長所、短所、親として子供にどのような教育をすればよいか、どのような人間像の親であればよいか、親も子供もこれからの社会で成功するにはどんな事に注意するべきか、2時間半通した講演で、これほど熱中した時間は今までになかった。

もう一つのテーマ「チャレンジ」はボンボヤール社長、近藤昌平氏は、我々と同年代でもあり、ありふれた和菓子屋から、現在も成長しつつある、あのボンボヤールを築き上げるまでの経験談には感動した。

一宮 佐藤

青年部
技能競技大会

最優秀賞に 赤川昌久君

第8回愛板青年部技能競技大会が1月11日、名古屋職業訓練校にて開催され、4支部より8名の選手が参加した。今回の競技大会は名古屋地区の青年部が準備設営を担当し、大会実行委員長には水野正一君(熱田南)が当った。競技に入る前に開会式が行なわれ、青年部長の挨拶に続き、平野副理事長と池田商店社長より選手に激励の言葉が述べられた。又、来賓として村上名古屋連合会長と早川事務局長にもおこし願った。柳橋敏光審査委員長は「始め」の合図で選手は一斉に課題の「丸アンコー」の製作にとりかかった。昼食を食べて競技が続けられ標準時間の約1時間前に最初の選手が作品を提出し、他の選手も次



出場選手

- 最優秀賞 赤川昌久 (東三)
- 優秀賞 高柳三郎 (岡崎)
- 優秀賞 勝崎正三 (知多)



競技風景

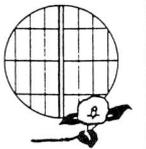
これにより赤川君が愛知代表として2月21・22日に四日市で開催される全板青年部技能競技大会に出場する事になった。赤川君ガンバレ!!



支部だより

東三板金

新年会開く



昭和六十二年度の新年会を、一月六日三谷の松風園に於て、午後六時から、県板から副理事長の平野さん、事務局長の早川さん、それから商社を迎え、多数の参加をいただき盛大に開かれました。まず、組合長の挨拶

で始まり、続いて県板の平野さんより、お言葉をお聞かせいただき、又事務局長の紹介、商社代表ウチダさんより、お言葉をいただきました。それぞれの挨拶の中にこの頃の不況で、私達の業界も変化し、今後の対策を、どのように



して、たら良いか、共同化、能率化、機械化等に努力しなくてはなりません。次に使用材料の変化、新しい材料の特質を早くつかみ合理的な工夫で、その材質を生かした、施工

をし、材質の高級化と仕事の範囲を上げ量の増加により良い年にしましょう。そして宴会に入り、和気あいあいにして、新年会を終りました。

東三 脇坂

江南支部総会開催

30周年を迎えた今年1月5日午前9時から江南市布袋の料理店八千代に於て、62年度総会及び新年宴会を開催した。

か記念になるような品物を、全員に贈っては等他に功労者に表彰状を作って授与式を行なうのはどうか? の意見が出た。

総会は、前年度の副支部長刈谷氏の開会の辞に続き三年間の任期を終えた後藤支部長が挨拶の中で「今後とも新役員に協力して支部の発展になるようにしたい」との言葉であった。次に事業報告をして

新役員選出にあたっては決まらず、二度三度の投票により支部長が決められた。若くやりの手、菱川氏が選ばれる。今後の江南支部は、希望が持てる年のように思えます。

技能士会報告の後、県板会館出資金の返還についての話が出る。この時に、「江南支部としての考えを聞かせてほしい。」との質問があり、支部としては、出資金が二万四千円の記憶なので、この金額を基本とする。しかしこの話はまだはっきりしない話とのこと。事業計画では、三十周年記念行事として何



木造の居住性が一番いい

コンクリート住宅より木造住宅のほうが居住性がすぐれているといわれてきましたが、正に科学的にすぐれている事を立証した実験報告が新聞記事にのっています。

その結果、判明したことはコンクリート製箱では、仔ネズミはあちらこちらに散乱しており、母親は仔ネズミの世話をする気配が全くなく、そのうち仔の体は冷たくなり死んでいった。なかには弱った仔を喰い殺す母親もいたという。その点、木製の箱では、母親は自分の産んだ仔を要領よくまとめて哺乳させ、仔に対する気配りもよく順調に育った。

木製の箱では、これらを実験をさらにすすめて、今度は箱内の温湿度、マウス自体の表面温度、マウスの体温温度等を測定し、今回の実験結果の理論づけを行い、さらに、真夏の暑い時期や真冬の寒い時期にも同様の実験を繰り返していく方針だ。木材の居住性を科学的に評価しようとする動物実験は過去にも名古屋などに例があるが、飼育期間一年間、飼育箱数十箱にも及び本格的な研究は初めてで、この成果が注目されている。

静岡大学農学部の一木材の居住性評価動物協同組合連合会から委託された研究であるが、今年の四月からハツカネズミ六十匹を用い、ヒノキ製の木箱、コンクリート製箱、亜鉛鉄板製箱の三つの箱(いずれも大きさは同じ。底に木屑を敷き、天井は金網)に入れて、ハツカネズミの成長状態、生存率(死亡率)、性情器の発達状態などを観察・研究したもので、木の箱のハツカネズミが他の箱に比べて全ての面で優れていることが判明した。

実験方法は、生後三週間のハツカネズミ雄雌各十匹ずつを各箱に入れて飼育。八週間目からオスメス一匹ずつを同じ箱に二週間入れ交配。その後オスを

取り除き、一箱当りメス一匹にし分婉させた。出産後も同じ条件下で飼育し、仔ネズミが二十三日目に達するまで継続して飼育したという。木製の箱は、コンクリート製の箱に比べて金属性、コンクリート製の仔ネズミに比べて成長が悪い、さらに、解剖して各種臓器の重量を測定したところ、木製箱に比べ、金属性やコンクリート製で育った仔ネズミは、メスでは卵巣や子宮、オスでは精巣の重量が軽く、臓器も弱いことが判った。

刈谷 望月

下請中小企業 活路開拓セミナー ご案内

一昨年末の急激な円高は、下請中小企業に単価の利下げ、受注量の減少等、多大な影響を及ぼしています。これらの影響を受けている下請中小企業の活性化を図る為、次のセミナーを開催致します。多数ご参加下さい。

記

◇名古屋地区

日時 昭和62年2月25日(木)13時30分～16時
場所 愛知県自治センター12階E会議室
名古屋市中区三の丸2-13-12

テーマ及び講師

- ・「円高と日本経済のゆくえ」 榊東海銀行調査部主任 大谷 聡氏
- ・「企業家のノウハウ」 名古屋中小企業投資育成㈱ 業務第二部 北村健二氏

◇三河地区

日時 昭和62年3月16日(月)13時30分～16時
場所 愛知県西三河事務所3階ホール
岡崎市明大寺本町一-四

テーマ及び講師

- ・「円高時における企業戦略」 岡崎信用金庫企画調査課長 小栗良司氏
- ・「企業経営のノウハウ」 名古屋中小企業投資育成㈱ 業務第二部 北村健二氏

◇尾張地区

日時 昭和62年3月18日(水)13時30分～16時
場所 春日井商工会館1階大会議室
春日井市鳥居松町五-四五

テーマ及び講師

- ・「円高時における企業戦略」 岡崎信用金庫企画調査課長 小栗良司氏
- ・「私の歩んできた道」 東洋電機㈱代表取締役会長 松尾昇三氏

参加費 無料
申込先 愛知県商工部工業振興課 機械金属担当
電話(〇五三)九六一二二 内線三四四

技能検定試験 実施要項決る

62年度前期技能検定試験実施計画が発表になりました。実施日・実施要項は次の通りです。受験を希望される方、又友人などに伝言頂き今から念頭において下さる様ご案内致します。

昭和62年度技能検定実施計画

項目	期間
受験申請	昭和62年4月6日(月)から 昭和62年4月15日(水)まで
実技試験	問題公表 昭和62年6月12日(金)
	実施 後日詳細を発表します
学科試験	昭和62年8月30日(日) (教科書は事務局にあります 一冊2,000)
合格発表	昭和62年10月6日(火)

受験料その他詳細については、三月六日以降に当支部技能士会役員及び事務局に問い合せ下さい。
〔愛板三月号へも掲載します。〕

編集後記

新しい年を迎え、本来ならば希望と期待に氣持も新たになるところなのに、私は腹が立ってならない。ものすごく怒っているのだ。元旦のテレビの画面に現れた中曽根首相の戦後政治の総決算。してやったりとばかりVサインにスマイル顔……一発食らわしたい氣持にさせられた。そのくらい腹が立っている。何に腹を立てているのかといえば、云うまでもなくお分りの事と思うが、中曽根政府の公約違反・ウソつき政治にである。昨年七月、衆・参同日選挙を強引にやらかし三百余議席にアグラをかいて、やりたい放題。売上税創設、所得税減税など税制改正、マル優制度廃止、防衛費GNP一%枠外し、老人法改正など法案成立をさせようとしている。これらは、選挙中、首相が「国民の意にそわないものは絶対にやしません」と公約したものはかりであるだけに「公約はやらないな

い」と云い切るあたり二枚舌を使うのもいいかげんにしてくれと云いたい。私には支持する特定の政党はない。与党でも野党でもいい政治はいないのであって悪いやり方は悪いのだ。まして個人の支持者などまったくない。はつきり云って、国会の先生から身近にいる市議会の先生まで「オネガイシマス」議員をやりたい人間は大きいのだ。それから、国家権力・警察権力など「権力」と名のつくものにはやたら抵抗感をもっている。いつも云う様に私は人間が少々変っているからなのだろう。過日ある業界団体の人が、売上税反対集会で「選挙の時には業界上げて自民党候補を応援して来た。ところが思いもよらぬうらぎりにあった。次の選挙には落選させたい」と思いついてやる。」と意気まいていたが、ふんまんやるかたない氣持はよく分かる。新設される事になったとき、自民党議員に投票した多くの人の責

任も問われることになるだろう。売上税は板金業界にも大きくのしかかると見られる。一億円以下の零細業者が圧倒的だけに人事のように無関心ではない。個々の人々が力を合わせて真剣に取り組まないこととで泣きを見る事になりかねない。国会での野党のがんばりを期待し、業界あげて反対運動を盛り上げてはならない。減税／と増税になるような(六〇〇万以下の所得では増税になる)減税を強調して、目先をくるわせ、公約違反の売上税なる悪税の創設を強引に押し進めようとする事は、中曽根政府の末期的症状であり詭弁を使い国民を愚弄した事実は断じて許されることではない。何はともあれ、今年もフロンティア・チャレンヂ・ハングリーの三精神でがんばりたい。

一月二十八日(水) 晴
二〇三号編集会議
委員九名出席
午後五時終了 (S)

